

令和2年度 (株)ジェイコム埼玉・東日本 仙台キャベツ局
放送番組審議会 書面審議 議事録

2020年度の放送番組審議会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、放送番組審議会委員と事業者との対面での審議は実施せず、事業者側より放送番組審議会委員に対して、審議番組ダイジェストDVD及び書面をもって現況報告、J:COMチャンネルの取り組み、放送実績について報告を行い、審議委員より書面にてJ:COMチャンネルに対して、意見、要望があった。

意見書の集約および回答については、「株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局」および、番組制作担当部署、「JCOM株式会社 J:COM プロダクション本部 映像第一部 仙台制作チーム」により、意見の拝受および内容の検討・審議の上、ご回答。

◆放送番組審議会委員 (50音順)

浅野 義則 様	荒谷 敏 様	風見 正三 様	佐藤 光廣 様
今野 薫 様	早坂 美代子 様	渡部 洋平 様	

◆審議資料

- ・「令和2年度 (株)ジェイコム埼玉・東日本 仙台キャベツ局 放送番組審議会 審議番組ダイジェスト (1時間46分)」DVD
- ・書面審議用紙

◆審議期間

資料発送：2022年2月上旬

回答書返信締め切り：2022年2月28日(月)

◆回答者

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局

局長 稲吉 正美

地域プロデューサー 荒木 洋邦 ・ 結城 麻友子

JCOM株式会社 J:COM プロダクション本部 映像第一部 仙台制作チーム

制作チーム長 藤原直軌

◆設問・回答 ※敬称略

問1：「コミュニティチャンネル1年の動き」をご覧になって、ご意見・ご感想・課題・改善案などお願いいたします。

(委員) 県内各地の伝統を取り上げたコーナーがあると、後継者不足も現実を伝えられるとおもいました。また、各地の子どもたちが伝統について語り合う ZOOM 会議などを行い、それぞれの地元で根付いた伝統を、震災を乗り越え、今もなお受け継がれていることを伝えられたら面白いと思います。

(委員) 「コロナ禍での必要な情報とは何か」を考えられた番組だと感じました。生活に身近な話題・情報に特化され地域直結のメディアが伺えます。また、アフターコロナへ情報をわかりやすく番組として構成されています。今後も、地域の話題を的確にとらえて情報提供番組制作に期待しています。

(委員) 新型コロナの中でコミュニティのネットワークをサポートするメディアとして発展して欲しい。

(委員) コロナ禍の中、飲食店はテイクアウトやデリバリーで新たな顧客を生み出そうと努力しています。このような情報を放送いただき、飲食店への良い応援であり、視聴者も生活情報としてありがたいと感じました。

過去のまつりやイベントの映像をリメイクしての放映は、主催者や地域の応援になります。マスク無しの映像が撮影年または開催年のキャプションが入っていないものには違和感がありました。(いただいた DVD の映像には入っていなかったということなのかもしれません)。また、参加者の実施に向けたメッセージや、今年度の活動状況(練習風景)も取り上げていただけると、参加者のモチベーション維持に効果が期待できるのではないかと思います。

(事業者)

県内各地の伝統を紹介するなど、新たなアイデアも頂きましてありがとうございます。

コロナ禍での番組制作は、スタッフの感染リスクを鑑みながら推進し、苦渋の決断の中で模索しながら進めて参りました。今後も地域のメディアとして、視聴者が求める地域情報や民放との差別化を意識しながら進めて参ります。

問2：レギュラー番組「仙台つながる News」「仙台なるほど調査隊」「杜モリスports」をご覧になって、ご意見・ご感想・課題・改善案などお願いいたします。

(委員) 多くの方に登場いただくことでユーザーの底辺を広げるという意味で「つながる応援団」の企画は大変良いが、自己紹介や相手との関係性など、もう少し人間像が捉えられるような長めの取材の方が良いのではないのでしょうか。コロナで気軽にオンラインが可能な環境ですので、形にはまらないものになるといいと思います。「杜モリスports」も、選手のプロフィールをテロップで入れるなど、個人的側面を引き出すのに成功していると思いますが、仙台・宮城の印象や思い、よく行くお店など身近な存在にしていけるような内容であればより魅力が増すものと思います。

(委員) いろいろな行事が取りやめになり、特に学校の大きな大会や式典の中止は、大変気の毒に感じております。どの様に乗り越えられたのか、子どもたちが思い出をどのようにのこせたのか…。発表の機会を失った祭りだったり音楽だったりスポーツだったり前向きで明るく乗り切った事例などがあるとホッとします。

(委員) ローカルの情報をお届けいただけるのはありがたいことです(その先どのようになっているのか、多少の検証が必要かもしれません)スポーツはこれから出てくるところや、コロナからの相乗効果が期待できるものだと思いますね。

(委員) 情報がカテゴリー別になっていてわかりやすい。また市町村とよく連携されていることが伝わってきます。またコロナ禍において不安を募るのではなく、元気になるような番組構成が感じられます。つながる応援団として地域の様々な取り組みが紹介され大変参考になる番組です。今後も、地域のちょっとした話題・方法を提供いただきたい。また、SDGsの取り組みなども紹介いただければと思います。

(事業者)

「つながる応援団」・・・現在、こちらのコーナーは終了していますが、ご指摘の通りユーザーの底辺を広げるという意味では一定の効果があったと感じています。

クオリティにつきましては人間性を捉えるという意味では薄かったのが、頂いた反省点を踏まえて新たなコーナーを検討させていただきます。様々な企業、自治体でSDGsの取り組みも始まっていますのでご指摘が大変参考になりました。

「杜モリスports」・・・インタビュー中心の番組となっており、よく行くお店など身近な存在になるような企画を検討させていただきます。

また、コロナの感染リスクの観点よりスポーツ選手の屋外取材が難しい状況で、これまではプロスポーツ選手の話を中心に制作して参りましたが、今後は、学生の部活など方向性の見直しを検討して参ります。

問3：震災特番「今、奏でるメッセージ」「震災をこえて～みんなで作る地域の未来～」をご覧になって、ご意見・ご感想・課題・改善案などお願いいたします

(委員) 震災の教訓をいかに子どもたちに継承していくかが重要であると考えております。親子間のコミュニケーションを創造していくステージをつくっていくかをサポートお願いいたします。

(委員) 東日本大震災から11年が経過し、震災を経験していない市民も増えており、記憶の風化の加速が懸念されています。震災の記憶を共有し、災害への備えの大切さという教訓を、世代を超えて伝えていく重要性が高まっていくものと考えております。今後も被災者の声、被災地の想いや復興の足取りを丁寧に取り上げていただけるとありがたいです。

(委員) お二人の心の葛藤から音楽に秘められた思いが真に伝わってきました。やはり音楽の力は大きいと感じ発信力が大きい！と改めて感じています。益々あまり「復興」と関わらず、希望、明るさ、楽しみを発信して行ってほしいと思います。宮城は明るい未来と希望がある楽しい県です!!

(委員) 地元有名人というキャスティングはとても良いと思います。震災を受けてどのように復興しているのかもいいのですが震災を経験して震災きっかけで生まれた絆やコラボなどがあれば紹介いただきたいですね。

(委員) 震災時の記憶がほとんどない年齢の子どもたちが、それぞれの考えを持ち、討論する姿が素晴らしいと思いました。

(事業者)

震災番組につきましては、キャスティング、音楽が良かったなど好評価を頂きましてありがとうございます。地域の活動に注視して今後も特番を制作して参ります。

記憶の風化を防ぐと共に、地震に問わず災害への備えとして市民ひとりひとりがどう日常に落とし込むのが重要だと考えております。

広域に発信すべき取り組みなどございましたら、情報頂ければ幸いです。

本日頂きましたご意見をもとにチャンネル編成・制作内容の向上に努め、地域に愛される企業、メディアとして推進して参ります。

以上